



社員に対する価値創造

多様な人材の活用

NTT西日本グループの事業を支える根幹は、言うまでもなく「人」です。全ての社員を活かし、企業力を高め、豊かな社会の創造に貢献するため、多様な人材が共存し、異なる価値観を活かし合いながら、イノベーションを起こすことができる企業文化・風土を醸成する取り組みを行っています。

あらゆる場面において、性別、年齢、雇用形態、障がいの有無に関わらず、全社員がそれぞれの能力や価値観を最大限発揮できる環境・職場づくりのため、経営層向けのセミナーや、女性社員の活躍推進、非正規社員から正社員となったグループ会社採用社員(中途)の育成、ベテラン層社員の活躍推進や障がい者雇用促進など、今後もさまざまな取り組みを行ってまいります。

女性社員の活躍推進

女性社員がやりがいをもってキャリアを重ね、後輩女性社員の良きロールモデルとして活躍できるよう、女性社員のキャリアアップをサポートする取り組みを実施しています。

例えば、中堅女性社員を対象としたマネジメント力向上などのための社外研修への派遣や、結婚出産などのライフイベントとの両立を支援する各種セミナー、女性社員と管理者との対話会などを毎年継続的に実施しています。男性社員や管理者に向けても理解促進のセミナーなどを実施し、女性が働きやすい環境づくりを推進しています。

また、女性ならではの視点で、働く環境の改善やダイバーシティに関する啓発セミナーなどを実施するワーキンググループ活動も行っています。

政府が推進する「女性活躍推進法(2016年4月1日施行開始)」についても「一般事業主行動計画」を定め、従業員一人ひとりが「自分らしいキャリアの実現」ができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

障がい者雇用の推進

多様な人材が共存することのできる企業風土づくりという観点から、NTT西日本グループでは障がいのある方々の雇用を積極的に推進しており、現在1,000名を超える障がいのある社員が、さまざまな職場で活躍しています(障がい者雇用率:2016年6月現在で2.20%)。

また特例子会社のNTT西日本セントでは、設立当初から実施している社内文書など保存書類の電子化業務に加え、2013年度より、情報機器端末の保守・サポートサービスへの加入勤奨業務、NTT西日本グループ各ビルでの電力使用量を視える化するためのデータ集計業務、さらに2014年度からはウェブアクセシビリティ診断など、さまざまな業務を通じて障がい者の就労機会の拡大に努めています。

LGBTなど性的マイノリティに対する理解醸成

多様性のひとつとして、NTT西日本グループではLGBTなど性的マイノリティへの適切な対応をめざした取り組みを実施しています。

社内外相談窓口での対応に加え、社員の理解醸成に向けた研修やセミナーを実施しています。今後もさらなる理解の促進に向けて、社内ホームページを活用した情報発信などを行ってまいります。

ワーク・ライフ・マネジメントの実践

社員個々のライフステージや価値観などを尊重しつつ、社員のワークとライフのさらなる充実に向けた取り組みを展開しています。具体的には「育児・介護休職者への職場復帰プログラムの導入」「仕事と家庭を両立するロールモデル社員の紹介」などを実施しています。

次世代育成支援

NTT西日本では「次世代育成支援対策推進法」に基づき、社員が性別、年代を問わずワーク・ライフ・バランスを推進することの理解を深め、職場全体が社員個人の多様な働き方を受容する土壌作りをめざすための「行動計画」を策定しており、その取り組み結果が認められ「次世代育成支援対策推進法」認定マーク(愛称:くるみん)を取得しています。

2015年4月1日より、「第四次行動計画(2015年4月1日～2017年3月31日)」を策定し、今後も従業員一人ひとりが仕事と子育てを両立し、やりがいを持って働くことができる環境の実現に向け、「ワーク・ライフ・マネジメント」の推進に積極的に取り組んでいきます。



人材育成

一人ひとりが世の中に通用するプロフェッショナルとして、

光サービスによる新しい文化の創造に寄与できる人材育成に努めています。

人材開発ビジョンに基づき、「個」の自立に向けた能力開発を推進できるよう、社員が自らのキャリアデザインを描き主体的に学ぶ姿勢をサポートする環境を提供するほか、チャレンジ意欲・モチベーション向上に応えるさまざまな育成プログラムを提供しています。

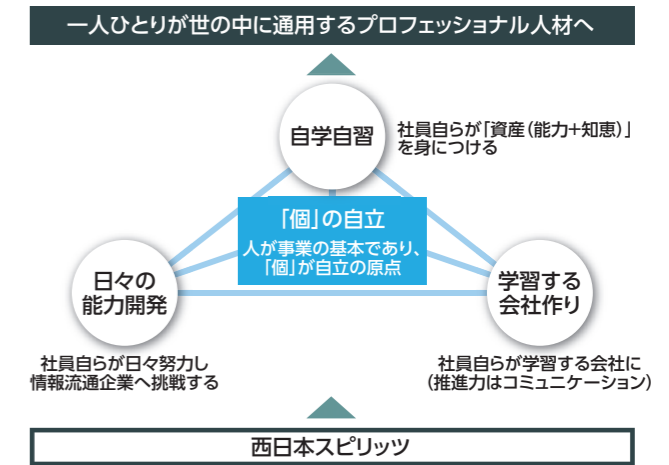
具体的には、各事業分野に適応した集合研修、遠隔eラーニング研修、WBT※、通信教育、社内スキル認定制度、資格取得に向けた支援制度などの整備・充実を図り、スキル・ノウハウの向上に努めています。

また、個人および社会のニーズが高度化・多様化し、市場の構造変化が進んでいるなか、今後とも良質かつ安定的なユニバーサルサービスを提供するとともに、ICT利用環境の充実による地域社会の発展へ貢献し、お客さまへの

魅力的なサービスを生み出すための技術・知識の習得に向けた人材育成に取り組んでいます。

※ Webブラウザなどのインターネット技術を使った研修(Web Based Trainingの略)。

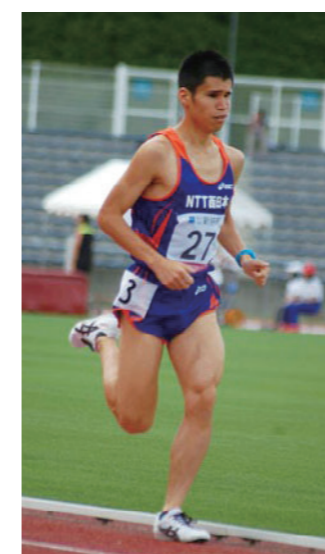
人材開発ビジョン



TOPICS

NTT西日本陸上競技部 堀越 信司さんがリオ・パラリンピックのマラソンで4位入賞

陸上競技部の堀越 信司選手が、2015年 ロンドンマラソン兼 IPCマラソン世界選手権において、銅メダルの獲得などの実績が選考の決め手となり、リオ2016パラリンピック



五輪に向けトレーニング中の堀越選手

競技大会日本代表選手として、「マラソン競技」の日本代表に選出されました。

堀越選手は、競技のみならず自身の活動で学んだ障がい者スポーツについての講話やふれあい陸上教室を行うなど、障がい者スポーツ振興・社会貢献活動に貢献しています。

障がい者スポーツ

障がい者スポーツの選手が抱える障がいは、腕や脚、視覚、聴覚などその種類はさまざま、程度も人によって異なることから、障がいの種類や程度によってクラスを分け、そのクラス内で順位を競っています。

例えば、視覚障がいでは、「T11、T12、T13、T14」と4クラスに分けられており、軽度弱視の選手は単独で競技し、全盲や重度弱視の選手は晴眼の伴走者がサポートします。

堀越選手はT12クラスに属し、伴走サポート無しで大会に出場しています。

ご報告

リオ2016パラリンピック競技大会にて、堀越 信司選手はフルマラソン4位に入賞いたしました(9月18日9:00スタート、タイム:2時間36分50秒)。

皆さまの応援のおかげです。ありがとうございました。